

令和 5 年度第 2 回立川市生涯学習推進審議会 会議録

開催日時 令和 5 年 6 月 28 日（水曜日） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 10 分

開催場所 立川市女性総合センターアイム第 2 学習室

出席者 [委 員] 檜崎 茂彌 副会長 大橋 正則 委員 柴 香里 委員
梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員 難波 敦子 委員
宮本 直樹 委員 来住野 清子 委員
[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 庄司 康洋
同 管理係長 加藤 暁子
同 管理係員 大須賀 雄大（記）

傍聴 0 名

次第

1. 辞令伝達
2. 開会
3. 会長挨拶
4. 報告事項
 - (1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について
5. 協議事項
 - (1) 令和 5 年度第 1 回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
 - (2) 立川市第 6 次生涯学習推進計画 令和 4 年度取組状況の進捗評価表の様式変更について
 - (3) 立川市第 7 次生涯学習推進計画 市民アンケートについて
6. その他
 - (1) 中学生の主張大会について
 - (2) 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設の整備について
 - (3) 西砂学習館中規模改修工事について
 - (4) 滝ノ上会館中規模改修工事について

配付資料

1. 令和 4 年度第 4 回たちかわ市民交流大学企画運営委員会議事概要
2. 令和 5 年度第 1 回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
3. 立川市第 6 次生涯学習推進計画 令和 4 年度取組状況の進捗評価表（令和 5 年度実施）
4. 立川市第 7 次生涯学習推進計画 市民アンケート（案）
5. 中学生の主張大会について
6. 砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設の整備について
7. 西砂学習館中規模改修工事について
8. 滝ノ上会館中規模改修工事について

会議内容

1. 辞令伝達
2. 開会
3. 会長挨拶
4. 報告事項

(1) たちかわ市民交流大学企画運営委員会の会議録について

(副会長) A委員よりご報告をお願いいたします。

(A委員) お手元の資料1でございます。いつも通り詳細に書いてございますので、お持ち帰りいただき読んでいただければと思います。簡単に説明いたしますと2ページ目、各学習館の運営協議会の様子の報告を受けております。3ページの上段では、生涯学習推進審議会の議事録を配布し、皆様に呼んでいただいて情報共有をしております。私からの報告は以上です。

(副会長) ありがとうございます。簡潔にご説明いただきましたが、質疑等ございますか。

各自確認する時間を設けたいと思いますが、それとも、自宅に戻ってからお読みいただくということよろしいですか。

(A委員) 貴重な時間ですから、あとでゆっくりお読みいただければと思います。(2)の地域学習館運営協議会のことでご自身の属する学習館でのことと異なっている場合などは、おっしゃっていただければと思います。

(B委員) 西砂学習館のことになりますが、3月4日に認知症予防講座のことが書かれていて、その下に「子どもの居場所づくり」のことが書かれています。これは、児童館からも参加しているのですが、学童を下校して、夜9時前くらいまで家に帰れなくて、近くのコンビニや公園で時間をつぶしている子供がいるという状況があります。青少健（青少年健全育成）にも伝えて、地域で子どもを支えられる居場所をつくれなにかということをお話しているところです。他にも夏休みのような長期休暇中の居場所をどのように確保できるか、西砂学習館に関しても今年中は規模改修工事があるので、昨年度まで実施できていた「サマーイベント」が定期的に実施できないような状況にあります。騒音や振動もあつたりするので、学習館以外にもどこかないかということで、学習等共用施設を利用できないかということも話題に出していますことを補足させていただきます。

(副会長) ありがとうございます。どの地域でも似たような課題があるかと思っておりますので、共有させていただければと思います。他にございますか。(なし)

5. 協議事項

(1) 令和5年度第1回立川市生涯学習推進審議会 会議録について

(副会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 事前に確認をお願いしておりましたが、脱字のご指摘がございましたので、修正しております。それ以外は変更ございません。会議終了後までにご意見ございませんでしたら、ご承認いただいたということで市ホームページに公開させていただければと思います。

(副会長) すでにご確認済みということですが、何かご質問等ございますか。(なし)

(2)立川市第6次生涯学習推進計画令和4年度取組状況の進捗評価表の様式変更について
(副会長)事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員)資料3をご覧ください。空欄となっている面が今年度使用したいと考えている様式で裏面が昨年度まで使用していたものとなります。変更している点は中段付近の「2.前年度のコメントに対する取組」の欄を追加しております。追加した経緯は、前回センター長より説明があった通り、皆様から進捗評価表でコメントをいただいてから市の動きを説明するのが不十分だったということで、追加させていただきました。上段が3年度総評、下段が4・5年度取組内容となっておりますが、上段が昨年度の総評となりますので、例えば裏面の総評で評価いただいた部分や課題を挙げていただいた部分について、いくつか抜粋して記載させていただく予定となっております。それについて、取り組んだ内容等があれば下段に記載させていただくという作りとなります。次回の会議で皆様から意見出しをしていただくための説明をさせていただく予定となっておりますが、それまでに1と2の部分を入力したものを準備してご提示させていただければと思います。この様式で今年度は進めさせていただければと思いますが、欄を追加するにあたり、他の余白を詰めて欄の追加をしておりますので、文字数は変わらず作成できるものと想定しております。こちらの説明は以上となりますが、次回の会議で評価委員を決めたいと思っておりますので、各自ご検討いただき、3名決定したいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

(副会長)ありがとうございます。2の項目が追加されたということで、過去のコメントを活かそうということになると思います。2のコメントに対して、3のコメント欄に記載される可能性があるということですね。

(事務局・管理係員)はい。前年度からの取り組みがいまいちであるとか継続して続けてほしいなど、3のコメントを作る上での参考になるような内容にしていければと思います。

(副会長)先ほど、「4・5年度を取組内容があれば」とおっしゃっていましたが、「あれば」ということなのでしょうか。

(事務局・管理係員)失礼しました。あればではなく、必ず何かしらの内容は記載させていただきます。

(C委員)新設された項目を書かれるのは行政ということですが、どのセクションの方が書かれる予定なのでしょうか。

(事務局・管理係員)その事業を把握している係に記載をしてもらう予定です。

(C委員)具体的な取り組みをしている学習館や施設から直接コメントをいただけるという期待をしてよろしいということでしょうか。

(事務局・管理係員)文書に起こすのは私かもしれませんが、それぞれの事業で学習館が把握していることであれば、聞き取って作成していくこととなります。

(C委員)わかりました。せっかく作るものですので期待しております。

(副会長)他にございますか。(なし)

(3)立川市第7次生涯学習推進計画 市民アンケートについて

(副会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料 4 とセットで「平成 30 年度生涯学習に関するアンケート集計結果」という前回の結果もつけております。今回のアンケートですが、令和 7 年度に発行される第 7 次生涯学習推進計画の前段として行われるものでして、10 月に実施予定となっております。市内に住む 18 歳以上の方 2,000 人を対象に無作為抽出をし、アンケートにお答えいただくこととなっております。今までは紙媒体のみの回答方法だったのですが、今回は LoGo フォームと言われるインターネット環境から回答できるものを、QR コードと URL を発送資料につけて、どちらでもご回答できるものを検討しているところがございます。お配りしている表ですが、左が今回の案で右側が前回のアンケートで使用したものとなります。修正を加えたところが赤字となっておりますので、右と左と見比べて追加や修正されているものをご確認いただければと思います。今回の案では全部で 30 問ご用意させていただいて、前回よりプラス 1 問という形となっております。変更点がそれなりにございますので、本日はその説明をさせていただいて、7 月中旬ないし下旬ごろまでに皆様からご意見を頂戴できればと考えております。説明の後、何かあれば本日もお聞きしますが、残りは後日という形にさせていただければと思います。それでは、内容の説明をいたします。30 問のうち (1) ～ (7) まではご回答者の属性に関するものとなっております。(8) ～ (18) までは学習活動の基本事項ということで、細かい内容を知りたい場合はここをクロス集計して拾い上げることになるかと思っております。(19) で情報収集の方法についてお聞きして、(20) ～ (23) で学んだことの活かし方について、(24) ～ (30) までは立川市の取り組みについてということで、大まかにはこのような構成となっております。それでは個々の設問について触れていきたいと思っております。(1) が性別を問う質問となっております。2 択となっておりますが、「その他・答えたくない」を追加しています。立川市の長期総合計画のアンケートでもこうなっていますし、時代背景を踏まえてこの選択肢も追加させていただきました。(2) ～ (4) は変更ございません。(5) につきましては、会社等の「役員・管理職」と「一般職員」で分かれていたのですが、分けたところで情報として有効に使うのが難しい部分でもありますので、少しでも簡潔にするために「会社員」に一本化しました。(6) ～ (7) については変更ございません。ここまでの回答者の属性を問うもので、これ以降が学習活動についての設問となります。(8) では、変更はありませんが、生涯学習について生涯学習のことがわからない方も含めてイメージをお聞きしています。続いて (9) で「生涯学習とは、」という形で生涯学習の定義が赤字で書かれています。生涯学習の定義を誤って捉えてしまうとこの後の回答に影響を及ぼしてしまうので、今回は枠出しして生涯学習の定義というのを認識していただくつもりでこのようにいたしました。設問内容については変更はございません。(10) は内容の変更はないのですが、選択肢の中段あたりに「情報端末」があって、そのかっこの中に「コンピュータやタブレットの使い方」、インターネットの方では「プログラムの使い方」ということで、あまり馴染みのない表現となっておりますので、情報端末の方は「パソコン、スマートフォン、タブレット端末など」に変更し、インターネ

ットの方は「SNS」の使い方に変更しています。続いて(11)はこのページは変更ありませんが、めくっていただいて、赤字にしてある「インターネット」と「書籍や雑誌など」に変更させていただきました。もともとは「情報端末とインターネット」となっていたのですが、情報端末は使用するときインターネットに接続することになるので削除しました。その下の選択肢は、コロナ禍で自宅でのオンライン学習が増えていることが想定される中で、「自宅での学習活動（書籍など）」と「インターネット」でどちらを選択するか悩まれる可能性がありましたので、「書籍や雑誌など」という形で紙媒体での学習という括りに変更させていただきました。自宅でのオンライン学習をした方であれば、「インターネット」を選択していただくという想定にさせていただきました。(12)は変更ございません。(13)は先ほどと同様の選択肢のかつこ書きの部分を変更しています。(14)では、生涯学習をしたことがない方に、その理由を問う設問となっております。赤字のところ、家事・育児のほかに「介護」も加えておりますが、このことを理由に忙しくされている方もいらっしゃるかと思いますので加えております。下の「身近なところに施設や場所がない」については、右の方では、理由になるものが3つも書かれていて、どの理由でこの選択肢を選ばれたかわからないということで、本来であれば、それぞれ分けるべきなのですが、「時間帯が希望に合わない」の部分は上の選択肢でカバーできると判断して削除しました。「学習の内容が合わない」については、生涯学習は本来個人でもできるものになりますので、いるとしても少数かと思えます。そのため簡潔に「身近なところに施設や場所がない」という内容になりました。その横の「きっかけがつかめない」に関しては新規で加えたものになります。国の生涯学習の調査では選択率が高いものになりますので、実態を正確に把握するために追加させていただきました。ここに修正が漏れてしまった部分があるのですが、一番下の「わからない」なのですが、国の調査で最も選択率が高い「特に必要ない」という選択肢が入っていないので、「わからない」を「特に必要ない」に変更したいと思えます。(15)は先ほどと同様の選択肢のかつこ書きの部分を変更しています。(16)は変更ありません。(17)は過去のアンケートでは現地での学習のみを想定した質問になっているのだと思いますが、インターネット学習はどこに入るのか悩まれてしまわないように赤字の部分を追記させていただきました。(18)は変更ございません。続いて(19)は情報の収集方法についてお聞きするものですが、今まで「立川市ホームページ」がなかったもので、必要なものと判断して追加させていただきました。最後の部分にSNSの注釈がついていたのですが、十分定着している言葉ですし、例示もあるので不要と判断して削除することといたしました。続いて右側の(20)はこの後説明いたしますが、設問の順番を変更させていただきました。続いての(21)についても後ろに移動させておりますので、後程説明させていただきます。続いて学習の活かし方についてです。ここから設問番号がずれてきますので、(20)となります。内容の変更はありません。(21)についても内容の変更はなく、かつこ書きの変更を行っております。(22)～(23)は内容の変更はございません。右側の(26)は後ろに移動しております。続いて右側(27)ですが、たちかわ市民交流大学の立ち上げ当初

は必要だったのかもしれませんが、市民企画なのか行政企画なのかなどの括りは市民の方に意識されていない部分ですし、知らずに参加している方も多くいらっしゃるのでも正確なデータは取りづらいということで削除させていただくことといたしました。続いて、立川市の生涯学習に関する取組に関する設問になりますが、ここにたちかわ市民交流大学や市民リーダー等を集約させて立川市の取り組みとしてお聞きすることとしました。冒頭の文章に「生涯学習からはじまるまちづくり」というスローガンがあったのですが、第6次計画では「持続可能な生涯学習社会」というワードの方を強く押し出していたので、変更させていただきました。

(24)は移動させてきただけで内容に変更はございません。(25)は(20)から移動してきた内容になります。「立川市が主催する講座はすべてたちかわ市民交流大学の講座であることを知っていますか」ということで、単純に認知を問うものではないため、結果からみても「知らない」が75%になっていて、枠組みのお話より内容の方が重要なので、ここではシンプルに認知を問う質問に変えさせていただきました。続けて(26)でたちかわ市民交流大学に参加したいかを問う設問を追加しました。(27)は生涯学習市民リーダーについて、今までは認知度に加えて、利用の有無を聞いていたのですが、ここでは認知のみの質問にして、次の(28)で活用の有無と活用の意向を問うものにさせていただきました。(29)は立川市がどのようなことに力を入れるべきかを問う設問ですが、左側の赤字「立川市のホームページで生涯学習情報を充実させる」、「講座をインターネットで予約できるようにする」と書いてあるのですが、右側を見ていただくと一つの選択肢となっております。前回の回答ではこの選択肢が一番回答率が高かったのですが、ホームページを充実させてほしいのか、講座をインターネットで予約できるようにしてほしいのかわからなかったため、選択肢を二つに分けさせていただきました。続いての赤字2つですが、新設した選択肢となります。どちらもコロナ禍でオンライン学習やWi-Fiの需要が増えているかと思いますので加えさせていただきました。続いて右側の赤字が連続している選択肢ですが、学校の図書館を開放する方向性がないということや学校での正規課程というのは立川市民科で実施済みということであったり、唐突に学校教育の内容が出てきてしまったりというところに違和感があるので、削除させていただきました。最後の問(30)は自由記入欄となっておりますが変更はありません。長々とわかりづらい説明で申し訳ありませんが、説明は以上となります。今日の段階でご意見があればいただいて、残りを持ち帰っていただいて7月21日頃までにご意見を頂戴できればと考えております。今回いろいろな部分を変更しておりますが、アンケートの特性から大きく変えすぎると経年比較ができなくなってしまうというデメリットもございますので、バランスをみてこの修正量にしております。本日の説明は長かったと思っておりますし一度で把握しきれなかったと思っておりますので、電子データに説明のコメントをつけてお送りしますので、変更の意図はそれを見てご確認いただければと思います。よろしく願いいたします。

(副会長) ありがとうございます。資料としてはもう一つ前回のアンケート結果がございます。こちらに2,000人に調査して30%ちょっとの回答率だったとあります。こ

ちらはどのように捉えられているのか、量が膨大なアンケートで答えるのが大変という気もするのですが、3割という数字はどうお考えでしょうか。

(事務局・センター長) 無作為抽出で行っている市政に関するアンケートというのを毎年行っています。この生涯学習のアンケートよりも設問数が多いのですが、回答率は30%程度でございます。そのほかにもいろいろなアンケートを実施していますが、30%前後で40%や50%の回答率となるアンケートは少ない状況です。紙媒体での回答の難しさもありますし、高齢の方だけでなく若い方に関しても見ていただけないという状況もございますが、今回はLoGoフォームを使用するという事で少し期待しております。回答率を上げるために設問数を減らしたのですが、経年比較したいところもございますし、構成上、これ以上減らすのは難しいというところがございます。回答率については妥当なものと思っております。

(副会長) ありがとうございます。量が多いので、ページごとにご意見をいただこうと思います。1ページ目はいかがでしょうか。

(A委員) (2)の「75歳以上」の選択肢ですが、前回の回答では75歳以上の層が一番多くなっています。ここにもう一つ「80歳以上」という選択肢を加えていただけないかと思います。理由としては、団塊世代が75歳以上になってきているのと70歳くらいまで働いているのは当たり前の時代で、中には75歳まで働いている方もいらっしゃるって、何歳になったら地域に戻ってくるのかということもあるので、少し細かく調査して見えてくるものもあるかと思います。

(副会長) ありがとうございます。結果を見るとたしかに75歳以上が多いですけど、一括りにした方がいい理由はあるのでしょうか。

(事務局・管理係員) 先ほど説明にあった市政に関するアンケートでもこうなっているということで、この形がオーソドックスだとは思いますが、ご指摘のとおりだと思いますので、80歳以上の選択肢を加えるということでいいと思います。

(D委員) 年齢ごとに何人対象とか、関係なくどんどん送ってしまうのか、どのように対象者は決めるのですか。

(事務局・管理係員) 無作為抽出になるので、年代ごとの送付数に偏りは出るかと思えます。ただ、無作為というところまでしか把握できていないので確認させていただきます。

(事務局・センター長) 完全無作為抽出だったと思います。年齢構成に合わせた比率で抽出されるものではないため、50代以降が割合増えてくるところが、若い方に多く対象者が振り分けられてしまう可能性もございます。そこは改めて確認させていただきます。

(副会長) ありがとうございます。2ページ目はいかがでしょうか。このページは先に生涯学習のイメージを聞いて、その後に生涯学習の定義を囲みにして伝えるという形にしているということですね。よろしいでしょうか。(意見なし)次は字句修正ということで、何か思いつくところ等あればご発言ください。(なし)次めくっていただいて、赤字のところ、左側であえて「自宅での」という言葉を省いた理由は何でしたでしょうか。

(事務局・管理係員) コロナ禍でオンライン学習が増えていることが想定される中で、今

までは自宅で書籍を読むような活動が想定されたのですが、現在は自宅で書籍だけでなくオンライン学習も増えているので、ひとつ上の「インターネット」にも丸がつくし、「自宅での学習活動」にも丸がつくということで混乱を招く可能性がありますので、右側の「(書籍など)」は紙媒体を想定しているだろうということで「書籍や雑誌など」という選択肢にして、自宅でのオンライン学習は「インターネット」を選択していただく想定でまとめさせていただきました。

(副会長) ありがとうございます。選択肢の字句の修正ということでございましたがよろしいでしょうか。

(E委員) 前回の結果を見ると「自宅での学習活動(書籍など)」が一番多いのですが、自宅で学習活動をしている人が「書籍や雑誌など」に移るようなことが想定されているのでしょうか。

(事務局・管理係員) この形で問題はないと考えているのですが、「自宅での」という部分に重きを置くとすれば「自宅」という場所を示す言葉は残す必要があるかと思えます。

(E委員) 自宅を残す意味があるかというところ少し疑問がありますかね。

(事務局・管理係員) 設問を作るにあたり、どの回答を求めていくかというところでは、私としましては形態を重視させていただいたところになります。

(E委員) 通勤電車の中で英会話の勉強をされている方も多くいらっしゃいますね。

(副会長) 鋭いですね。前回の結果と見比べながらお聞きしたのですよね。次の(13)については、字句の修正です。いかがでしょうか。(なし) 次の(14)はいかがでしょうか。こちらはいくつか変更されています。

(F委員) 「わからない」から「特に必要ない」に変更するとおっしゃっていたのですが、(9)のところでは生涯学習の必要性を「全く感じていない」という選択肢があって重なるので、「理由がない」という選択肢でもいいかと思いました。

(事務局・管理係員) ご指摘ありがとうございます。二重の質問になりそうということでですね。

(副会長) 前回の結果を見ると「特に学習する必要がない」という項目がありますね。集計結果と案と違う部分がありますか。

(事務局・管理係員) すみません。抜けているようです。こちらの「特に学習する必要がない」というのは入れさせていただきます。そのため、「わからない」もそのまま残す形でよろしいでしょうか。

(副会長) つまり「きっかけがつかめない」を加えるということですね。

(G委員) (14)で「介護など」となっているのですが、ここだけ「など」がついているのは意味があるのでしょうか。

(事務局・管理係員) 意図としては伝わりづらいかもしれませんが、仕事に関するものと家事・育児・介護などのご自宅の都合に関わるものということで「など」をつけさせていただきました。当てはまるものを考えたときにここにあるもの以外で大きな要因が見つからなかったため、細かいものも含めていただくために「など」を入れても差し支えないかという考えもありました。

(E委員) 「家事や育児」というのは家庭でのという意味でよろしいのでしょうか。

- (事務局・管理係員) そのイメージで分けております。
- (副会長) いかがでしょうか。
- (事務局・管理係員) もし必要性があまりないようでしたら、「など」は取って、「介護が忙しくて」という形に変えてもよろしいかと思えます。
- (副会長) よろしいでしょうか。(反対意見なし) それでは、続いて(16)が変更なしですね。続いて(17)から(19)のページをご覧ください。
- (A委員) (19)の選択肢に「FacebookやTwitterなどのSNS」とあって違和感があるのですが、5年前はFacebookがとても盛んだったと思うのですが、今は下火かと思えます。SNSを表現するのであれば、拡散型のものと少し違うかもしれませんが「LINE」ですね。立川市役所もTwitterとLINEを使用していますし、変えてもいいかと思えます。
- (副会長) ここの部分について何か他にご意見ございますか。
- (C委員) そもそもというお話になってしまいますが、(19)に至るまでに「SNS」という言葉が何回も出てきているのですが、ここで改めて書く必要はあるのでしょうか。(10)で「SNS」が出て来て、(19)で「FacebookやTwitter」という例が出てくるのであえて書かなくてもいいような気がします。どうでしょうか。書くのであれば先に書くべきだとは思えます。
- (E委員) 「TikTok」は入れなくても大丈夫でしょうか。18歳以上が対象なので利用している方もいらっしゃると思えます。
- (C委員) 「Instagram」もありますね。
- (事務局・管理係員) 例示はいくつか挙げておいた方が想像しやすいかと思えます。(19)より前に「SNS」が出てきてしまっているので、前に持っていこうと思っておりますが、例示は何がよろしいでしょうか。
- (E委員) 大学生くらいになるとInstagramが多いですかね。
- (C委員) Instagramは多いですね。自治会連合会の各支部の情報発信はInstagramを推奨しています。写真さえあれば文字がなくても何とかできるのでメジャーかと思えます。
- (事務局・管理係員) 現在の表記だとアルファベットの正式名称の後ろにカタカナでも書いているのですが、このカタカナをやめて正式名称のみであれば3つくらい挙げても長くなりすぎないかと思えます。カタカナは取ってもいいかと思うのですがいかがでしょうか。
- (C委員) 第6次計画にカタカナにしてしまったので、どこかのタイミングで正式名称は使いませんということがあったかと思えます。
- (事務局・管理係員) 「YouTube」を第6次計画でカタカナ表記にしていたので、進捗評価表でもそのままカタカナ表記で載せさせていただきましたという経緯がありました。それでは、後ろのカタカナを取って事務局の方で案を示し直す形でもよろしいでしょうか。
- (E委員) 講座なんかですと「YouTube」に載せていますよね。
- (D委員) 年齢の高い方にも聞くのであればカタカナも残しておいてもいい気がします。
- (事務局・管理係員) そういうことであれば、例が多くなればなるほど選択肢が長くなり

すぎてしまうので、2 つくらいがよろしいかと思います。先ほどご提案のあった YouTube もメジャーなので、選択肢には入ってくるかと思います。

(E 委員) 学習というと YouTube はいいかと思います。研修するときも使用したりするのでいいかと思います。

(C 委員) 檜崎副会長の「古道を歩く」も YouTube に上がっていますよね。あの動画を見て古き良きを学ぶということが出来ますね。

(F 委員) 私は「LINE」が入っているといいと思います。全世代で使用されていますし、スマホの使い方教室では「LINE」を使いたいという要望が多くあります。ご家族とかで使用していても LINE は SNS という認識も持っていたらということも含めて入っているといいかと思います。

(事務局・管理係員) 具体的にご意見が 2 つ出ましたけれども、LINE や YouTube の後にカタカナ書きを入れるという形で案をお示しさせていただければと思います。まだ修正はいくらでも可能ですので、見ていただいて変だと感じましたらご意見いただければと思います。

(副会長) 続いてのページは移動するという事で内容は変更がございません。(21) は同様の字句修正です。(22) (23) は修正なしです。めくっていただいて、(26) は (27) へ移動ということです。続いて次のページ (24) のところですが、(26) は新設されているのが移動してきたということでしたか。

(事務局・管理係員) 新設は前回までにない設問を示しています。わかりづらくて申し訳ございませんが、左側の (24) は右側の (21) から移動してきたものとなります。左側の (25) は右側の (20) をベースに作ったものになります。(26) は完全な新設の設問で、左側の (27) が右側の (26) からきているものになります。

(副会長) ありがとうございます。このページはいかがでしょうか。

(C 委員) (24) や (26) の選択肢が国語の問題というか、すべてをしっかり読まないと選択できないというところが回答のしづらさにつながっている気がします。これらの質問は本来 2 つに分けることができるもので、「参加したことがあるか」、「参加してみたいか」と分けられるので、回答する立場のことも考慮していただいた方がいいかと思います。

(G 委員) 今までの問は身近な問題だったのに、急に知らない言葉が並んで答えが 4 つもあって、市民リーダーなんかもそうですが、回答によっては見たくないと思ってしまいます。みなさんに浸透していないものを答えてもらうと言っても困ってしまうと思います。

(副会長) 意図としては、参加したことがあるけどまた行きたいのか、そうではないのかというところで、複雑な選択肢にしているのだと思います。

(G 委員) C 委員がおっしゃるように 2 つに分けていいと思います。

(C 委員) LoGo フォームのようにネット回答するときもシンプルな方が答えやすいと思います。

(事務局・管理係員) 設問数が増えてしまうことにはなりますが、シンプルな質問が続いた方が答えやすいということですね。

(C 委員) そうだと思います。

(事務局・管理係員) 先ほど副会長がおっしゃっていたクロス的な回答というのは設問を2つに分けてもとることができますので、設問数が多いか、複雑な質問でも大丈夫かの問題かと思います。皆様のご意見が分けた方がいいということであれば、その他の回答する方々もそういうご意見だと思いますので、分けてシンプルなものに作り直してみたいと思います。

(C委員) もう少し前の設問で選択肢が10個くらいあるものがありましたね。あれは大変かもしれません。むしろ自由記述の方が簡単なのではないかと思います。

(事務局・センター長) 自由記述は入力作業がありまして、過去のアンケートで膨大な量の自由記述を入力した記憶がございますので、最後の部分でお聞きするのはいかがでしょうか。

(事務局・管理係長) 字が読めない場合があって、正確な意図が読めないこともありますので、どちらがいいかというのは難しいところです。

(事務局・センター長) ご意見いただいていない設問があれば、削除するのはありかと思えます。

(C委員) 設問数が多くなっている傾向があるので、榎崎副会長が当初言った通り、ボリュームがすごいのでどのくらい時間がかかるのか、回答する気がなくなる類のものかなと思っています。そこを何とか改善できればと思っています。書面で送られる場合もあるのでしょうか。

(事務局・管理係員) 基本的には書面でお送りして、QRコードもついているので、インターネットでも回答できますというものになります。

(C委員) 最近知ったのですが、WordやExcelに「UD」というフォントがありまして、ユニバーサルデザインの略で、文字が見づらいとか太さが途中で変わることによって文字として認識しづらい方もいるようで、そういった部分に対しても工夫をしていかなくてはいけない時代になっていると思います。明朝体は尖っているから見づらいようです。

(事務局・センター長) 行政文書の基本は明朝体と教わっていて、ゴシックですとか教科書ではUDフォントを使ってとても見やすくなっています。

(E委員) Wordに入っている「メイリオ」が一番UDフォントに近いということで、うちの区では行政利用はメイリオにするという話が出ています。高齢の方だと明朝体だと読めないということでそういった流れがあります。

(副会長) ありがとうございます。その部分に関しては工夫していただくこととして、その次の(28)は同じように工夫していただきます。(29)は選択肢を2つに分けた部分がありました。学校関連の選択肢は唐突に出てきているので削除したいということです。よろしいでしょうか。今日出た指摘については考えてきていただくとして、21日までにご確認いただいて、ご意見を改めてお寄せくださいということです。次回の会議でアンケート内容を確定するという流れでよろしいでしょうか。

(E委員) せっかくのアンケートなので、どういう回答を導き出したいのかというのがわかると考えやすいのかなと思うのですが、一つひとつ見て考えてしまうと全体が見えなくなってしまうので、何を聞こうとしているのか意図があれば教えていた

だければと思います。

(事務局・管理係員) 前半の学習活動の基本事項の質問のところは経年比較しながらクロス集計して傾向をつかむというものになっています。立川市の取り組みについてのところは意図を込めて作らなければいけない部分になるかと思いますので、今日のご指摘を踏まえて検討していきたいと思います。

(副会長) それでは、アンケートについては以上にさせていただきます。

6. その他

(1) 中学生の主張大会について

(副会長) 事務局より説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 毎年、この審議会宛に依頼が届いているものになります。中学生の主張大会における審査員の推薦についてということで、昨年度と同様、団体審査員 2 名、個人審査員 1 名の選出をこの場でお願いできればと思います。主張大会の概要ですが、大会が 11 月 3 日文化の日にたましん RISURU ホールで行われまして、団体審査員の 2 名については大会当日のみの審査で、個人審査員の方は大会当日の審査に加えて、自宅で 120 編の事前審査をしていただいて、10 月 5 日に審査会があります。参考情報ですが、昨年度は個人審査員を C 委員に、団体審査員に D 委員と H 委員をお願いしております。連続で担うことは問題ないそうです。3 名の選出をお願いいたします。

(副会長) 配られた資料に細かい資料があります。個人審査員をやったことがあるのですが、大量の作文を読まなくてはいけない一方で、やりがいがあって面白いです。本日決めないといけないということですよ。

(事務局・管理係員) 期日がありまして、個人審査員が 7 月 31 日までなので、できれば同時に決めてしまいたいと考えているので、どうしても決めきれない場合は個人審査員だけでも決めていただければと思います。

(副会長) 昨年度はたくさん手があがったような気がしますが、いかがでしょうか。

(A 委員) できないということではなくて、やりたい気持ちはあるのですが、経験されていない方にぜひという気持ちが強くて、新しい委員さんも増えたことだし、いかがでしょうか。B 委員はいかがですか。

(B 委員) 私は人権作文の方で部長もしているものですから、東京都に上げるものも百何十篇も読まなくてはいけない状況です。人権擁護委員の方でも団体審査員を 2 名出さないといけないので、様子を見ながらどなたかにお願いしようと思っています。

(A 委員) E 委員はいかがですか。

(E 委員) 私も審査員が他で決まっています。自宅に通知も届いていまして、申し訳ありません。

(副会長) 本来であれば、もう 3 人この会議に出席しているので、なかなか決めるのが難しいですね。

(A 委員) 杉浦委員・I はもしかすると参加のご意向があったかもしれないですね。

(事務局・管理係員) 杉浦委員・I からは欠席のご連絡を早めにもらっていたので、審査

員に立候補される場合は、ご連絡をくださいと伝えていたのですが、返答はなかったという状態ではありました。

(G委員) 11月3日の当日参加します。

(副会長) 団体審査員ですね。ありがとうございます。他に団体審査員でどなたかいらっしゃいませんか。

(D委員) 11月3日だけであれば何とかなんかにできると思います。去年も出ていますが問題ありませんか。

(事務局・管理係員) 問題ございません。

(副会長) ありがとうございます。

(C委員) 個人審査員でも大丈夫なのですが、昨年、A委員から半ば奪うような形で担当させていただきました。その後、自治連の方にも依頼があって、別の方に無理を言うてお願いしたことがありましたので、自治連の枠で今年は参加しようと思っています。

(副会長) そうなると私しか残っていないかと思います。一度やったことがありまして、大変なのですが、面白いことも確かです。それでは、私が担当させていただきます。個人審査員を私、団体審査員をG委員とD委員ということで無事決まりました。よろしくお祈いします。

(2) 砂川学習館／地域コミュニティ機能複合施設の整備について

(副会長) 報告が3件ありますので、事務局からまとめてご報告をお願いします。

(事務局・センター長) この3件につきまして、市議会の文教委員会でご報告させていただいた内容でございます。一つ目の案件につきまして、砂川学習館が3月末で閉館しております。閉館する前の設計概要説明会の内容の報告となりますが記載のとおりでございます。新しくできる砂川学習館は、学習館の機能に加えて、もともとある子育てひろばと地域コミュニティ機能が追加されて新たに生まれ変わります。これらの内容が資料に記載されていまして、説明会でも様々なご意見を頂戴いたしました。建設工事の説明会を6月30日と7月1日ということで今週末に実施する予定となっております。契約議案という形で市議会最終日にお認めいただきまして、準備が進んでいる状況でございます。まもなく解体工事をして、今年度は基礎工事を行う予定となっております。

(3) 西砂学習館中規模改修工事について

(事務局・センター長) B委員のおっしゃっていた通り、西砂学習館が中規模改修工事を実施してまいります。昨年度の錦学習館の工事と同じような規模の工事となりますが、主に機能維持でございまして、屋上や外壁の改修、LED照明の導入やサッシの改修など様々なものを予定しております。利用に供しながらの部分ごとに改修を行いますので、音などは出てしまうこととなります。利用中の制限や駐車台数も減らしてご利用いただくことになるかと思ひます。連絡所機能は維持し続けて、子育てひろばは場所を変えながら実施していきます。図書館は2か月間休館します。こちらの説明会は6月25日に行いまして、7名の方にご参加いただきました。

(4) 滝ノ上会館中規模改修工事について

(事務局・センター長) 11 館ある学習等供用施設で初めての改修工事となります。40 年以上、建築から経過しているため老朽化が進んでいるということで改修させていただきます。屋上防水、外壁の改修、内部の仕上げ、劣化部位の改修がありまして、スロープが急な部分がございますので、緩やかにするものも含まれております。また、会館からの要望で、スリッパでは滑って転倒してしまう可能性があるということで土足仕様に変更します。あとは、防犯カメラや物置の改修も予定しております。8 月は全館休館いたしまして、1 階、2 階は時期を変えて改修していくことになります。こちら音が出る工事となりますが、6 月 24 日に説明会を行いました。34 人の方にご参加いただきました。様々なご質問をいただきましたが、避難所を開設できるのかなどの防災関係の質問もいただきました。会館の改修は初めてとなりますが、会館は指定管理者にお願いしておりますので、職員がおりません。そのため、難しさもあるのですが、管理運営委員会と連絡を密に取って進めてまいりたいと思います。説明は以上です。

(副会長) 3 件のご報告について、何かご質問ございますか。(なし) その他に皆様からございますか。(なし) それでは、第 2 回生涯学習推進審議会を終わります。ありがとうございました。